

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第61期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	伯東株式会社
【英訳名】	Hakuto Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉本 龍三郎
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿一丁目1番13号
【電話番号】	03(3225)8910(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理統括部・経営企画統括部管掌 高田 吉苗
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿一丁目1番13号
【電話番号】	03(3225)8910(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理統括部・経営企画統括部管掌 高田 吉苗
【縦覧に供する場所】	伯東株式会社関西支店 （兵庫県伊丹市宮ノ前二丁目3番18号） 伯東株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区栄一丁目10番21号 名古屋御園ビル） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第2四半期連結 累計期間	第61期 第2四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	54,776,118	52,943,159	116,147,797
経常利益(千円)	2,270,200	1,631,497	4,186,623
四半期(当期)純利益(千円)	1,270,267	990,432	2,243,566
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	32,763	346,047	1,938,963
純資産額(千円)	39,805,935	41,018,136	41,260,190
総資産額(千円)	69,923,195	69,824,504	72,380,596
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	58.11	45.31	102.64
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	56.6	58.7	56.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,558,524	56,620	3,602,115
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	163,269	1,315,728	497,012
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,616,547	1,718,337	3,131,287
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	12,612,424	9,272,946	12,539,679

回次	第60期 第2四半期連結 会計期間	第61期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	27.30	17.60

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当第2四半期連結会計期間に、「電子部品事業」のセグメント区分において、株式会社オルテナジーとの合弁会社（当社出資比率49.0%）である株式会社ルーフスを設立し、持分法適用会社としております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興需要による設備投資の増加や、低迷していた個人消費の持ち直しが景気を下支えし、当初緩やかな回復基調にありましたが、当第2四半期末にかけて、欧州債務問題の長期化による財政・金融不安、中国をはじめとする新興国の経済成長の減速、円高の長期化等により、先行き不透明感が強まってまいりました。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界は、国内では自動車生産の回復に伴って車載関連部品の販売が増加傾向となり、スマートフォン需要の増大により関連製造設備や搭載電子部品の販売が好調となりましたが、パソコン、A/V家電等のデジタルコンシューマ関連については、グローバル価格競争激化や景気低迷による消費者の購買意欲の減退等により業績は低調に推移いたしました。

また、ケミカル業界は、中国の景気減速に伴う樹脂需要の縮小により、国内の石油関連各社が減産傾向となりました。また、市場における輸入紙の増加により、製紙関連業界において内外価格差の拡大が深刻な状況となりました。

このような環境の中で、第1四半期より堅調に推移しておりました当社グループの販売実績は、夏以降の景気減速とともに伸び悩み、工業薬品は前年度を上回りましたが、電子部品及び電子・電気機器は前年度を下回り、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は529億43百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

損益面につきましては、景気減速による売上高の減少に加え、国際的価格競争が激化する中で利益率も前年度を下回り、結果として連結売上総利益は83億56百万円（同5.2%減）となりました。連結販売費及び一般管理費は、前年度に取り込んだ真空関連及びケミカル関連の新規ビジネスの人員増加等を主因として68億45百万円（同2.9%増）となり、連結営業利益は15億11百万円（同30.1%減）、連結経常利益は16億31百万円（同28.1%減）、連結四半期純利益は9億90百万円（同22.0%減）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

なお、前連結会計年度及び第1四半期連結会計期間において、報告セグメントごとの利益、損失の算定方法を変更しております。

そのため、前年同期比較については、前第2四半期連結累計期間を組み替えて算定しております。

[電子部品事業]

電子部品分野では、車載関連部品やスマートフォン関連部品は需要の増加により販売が伸長しましたが、光通信関連部品の販売は米国での光分野への投資計画変更の影響を受けて低調となりました。また、テレビやA/V機器の需要低迷によりコンシューマ関連部品も前年度を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は401億円（前年同期比5.0%減）となりました。また、セグメント利益は6億92百万円（同36.8%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、スマートフォンやタブレットの生産増加等に牽引され、主力のPCB（Printed Circuit Board）関連装置や冷却装置の東アジア向け輸出が好調となりました。また、タイの洪水被害による装置の代替需要等により海外市場において堅調であった一方で、国内市場においては設備投資低迷の影響を受け、半導体関連装置の売上が伸び悩み、当第2四半期連結累計期間の売上高は82億27百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は5億円21百万円（同26.9%減）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、前年度第4四半期より紙・パルプ業界向けに販売を開始したBASF製品の販売が好調であったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は46億12百万円（前年同期比18.0%増）となりました。しかしながら利益率の低い商品の販売比率が高かったことから、セグメント利益は2億12百万円（同35.3%減）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億49百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は16百万円（同46.8%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が25億56百万円減少し、698億25百万円となりました。これは主に、新基幹システム導入準備に伴い無形固定資産が4億84百万円増加し、また、商品及び製品が2億79百万円増加しましたが、現金及び預金が29億10百万円減少したためであります。

負債は前連結会計年度末と比較して23億14百万円減少し、288億6百万円となりました。これは主に、借入金において短期借入金が6億84百万円、長期借入金が5億90百万円減少し、また、支払手形及び買掛金が5億38百万円減少したためであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して2億42百万円減少し、410億18百万円となりました。これは主に、利益剰余金が5億53百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が2億85百万円減少し、また、為替換算調整勘定が3億26百万円減少したためであります。

連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは57百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは13億16百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは17億18百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して32億67百万円減少し、当第2四半期末は92億73百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益16億22百万円等の収入がありましたが、法人税等の支払9億79百万円、たな卸資産の増加4億55百万円、仕入債務の減少2億48百万円等の支出により、営業活動によるキャッシュ・フローは57百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には税金等調整前四半期純利益及び売上債権の減少等により15億59百万円の収入となっております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

無形固定資産の取得による支出6億56百万円、定期預金の預入による支出4億73百万円、有形固定資産の取得による支出1億97百万円、子会社株式の取得による支出1億53百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは13億16百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には定期預金の払戻による収入等により、1億63百万円の収入となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入れによる収入157億2百万円、長期借入れによる収入5億円がありましたが、短期借入金の返済による支出161億79百万円、長期借入金の返済による支出12億64百万円、配当金の支払による支出4億37百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは17億18百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、長・短期借入金における（純）返済額による支出、配当金の支払による支出等により、16億17百万円の支出となっております。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、74,139千円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	54,000,000
計	54,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	24,137,213	24,137,213	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	24,137,213	24,137,213	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	24,137,213	-	8,100,252	-	2,532,385

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
公益財団法人高山国際教育財団	東京都新宿区新宿一丁目1番11号	4,226.2	17.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番11号	2,929.7	12.14
高山 一郎	WOODSIDE CA.94062.U.S.A.	1,058.9	4.39
高山 健	BELLEVUE,WA.98004,U.S.A.	1,058.9	4.39
高山 龍太郎	ATHERTON CA.94027 U.S.A.	1,058.8	4.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町二丁目11番3号	937.6	3.88
黒田電気株式会社	大阪府大阪市淀川区木川東四丁目11番3号	604.2	2.50
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番12号晴海 アイランドトリトンスクエアオフィス タワーZ棟	350.7	1.45
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	東京都品川区東品川二丁目3番14号	337.3	1.40
伯東従業員持株会	東京都新宿区新宿一丁目1番13号	295.6	1.22
計	-	12,857.9	53.27

(注) 1. 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,929.7千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 937.6千株
資産管理サービス信託銀行株式会社 350.7千株

2. 上記のほか自己株式2,278.6千株を保有しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,278,600 (相互保有株式) 普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,822,100	218,221	-
単元未満株式	普通株式 36,413	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	24,137,213	-	-
総株主の議決権	-	218,221	-

(注)上記「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ1,500株(議決権の数15個)及び6株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 伯東株式会社	東京都新宿区新宿一丁目1番13号	2,278,600	-	2,278,600	9.44
(相互保有株式) 株式会社エーエスエー・システムズ	福岡県北九州市戸畑区中原新町3-3	100	-	100	0.00
計	-	2,278,700	-	2,278,700	9.44

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,382,742	10,472,570
受取手形及び売掛金	1 29,065,761	1 28,802,269
有価証券	127,395	0
商品及び製品	14,085,028	14,364,313
仕掛品	67,679	76,738
原材料及び貯蔵品	296,690	312,026
繰延税金資産	745,651	671,490
その他	1,420,716	2,020,781
貸倒引当金	71,301	68,604
流動資産合計	59,120,361	56,651,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,564,822	1,603,158
土地	3,997,325	3,961,325
その他(純額)	997,741	975,002
有形固定資産合計	6,559,888	6,539,485
無形固定資産		
投資その他の資産	651,332	1,134,878
投資有価証券	5,472,954	4,896,701
繰延税金資産	74,523	70,673
その他	550,323	571,458
貸倒引当金	48,785	40,274
投資その他の資産合計	6,049,015	5,498,558
固定資産合計	13,260,235	13,172,921
資産合計	72,380,596	69,824,504

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 14,080,183	1 13,542,469
短期借入金	6,712,385	6,027,896
未払法人税等	1,022,498	618,775
繰延税金負債	-	3
賞与引当金	791,286	817,693
製品保証引当金	38,000	30,000
その他	2,636,250	2,680,029
流動負債合計	25,280,602	23,716,865
固定負債		
長期借入金	3,896,700	3,306,590
繰延税金負債	1,381,720	1,183,900
退職給付引当金	311,559	324,002
役員退職慰労引当金	40,266	31,777
その他	209,559	243,234
固定負債合計	5,839,804	5,089,503
負債合計	31,120,406	28,806,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100,252	8,100,252
資本剰余金	7,491,664	7,491,664
利益剰余金	28,965,538	29,518,805
自己株式	4,184,887	4,184,929
株主資本合計	40,372,567	40,925,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,894,586	1,609,770
繰延ヘッジ損益	19,440	14,368
為替換算調整勘定	1,177,297	1,503,058
その他の包括利益累計額合計	736,729	92,344
少数株主持分	150,894	-
純資産合計	41,260,190	41,018,136
負債純資産合計	72,380,596	69,824,504

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	54,776,118	52,943,159
売上原価	45,966,455	44,587,626
売上総利益	8,809,663	8,355,533
販売費及び一般管理費		
アフターサービス費	7,570	13,888
製品保証引当金繰入額	28,250	8,000
給料及び手当	2,198,779	2,251,710
賞与引当金繰入額	723,434	736,854
退職給付費用	274,440	273,471
役員退職慰労引当金繰入額	1,765	3,408
のれん償却額	35,534	8,855
貸倒引当金繰入額	3,521	268
その他	3,375,709	3,564,528
販売費及び一般管理費合計	6,649,002	6,844,982
営業利益	2,160,661	1,510,551
営業外収益		
受取利息	11,443	12,864
受取配当金	128,938	118,982
持分法による投資利益	86,390	74,862
その他	82,534	36,656
営業外収益合計	309,305	243,364
営業外費用		
支払利息	76,276	57,430
為替差損	92,131	42,730
クレーム処理費	9,503	1,955
その他	21,856	20,303
営業外費用合計	199,766	122,418
経常利益	2,270,200	1,631,497

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	1,773	1,886
投資有価証券売却益	1	16,370
子会社清算益	-	643
受取補償金	-	² 140,766
保険解約返戻金	4,406	4,404
特別利益合計	6,180	164,069
特別損失		
固定資産売却損	-	27,322
固定資産除却損	3,287	677
投資有価証券売却損	-	130
投資有価証券評価損	8,870	145,520
会員権売却損	-	200
会員権評価損	5,300	-
訴訟和解金	¹ 104,949	-
特別損失合計	122,406	173,849
税金等調整前四半期純利益	2,153,974	1,621,717
法人税等	869,398	631,285
少数株主損益調整前四半期純利益	1,284,576	990,432
少数株主利益	14,309	-
四半期純利益	1,270,267	990,432

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,284,576	990,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,136,213	280,199
繰延ヘッジ損益	45,139	33,808
為替換算調整勘定	69,998	325,761
持分法適用会社に対する持分相当額	463	4,617
その他の包括利益合計	1,251,813	644,385
四半期包括利益	32,763	346,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,381	346,047
少数株主に係る四半期包括利益	13,382	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,153,974	1,621,717
減価償却費	264,288	260,173
のれん償却額	35,534	8,855
退職給付引当金の増減額(は減少)	17,968	16,576
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,375	8,490
賞与引当金の増減額(は減少)	49,817	28,605
受取利息及び受取配当金	140,381	131,846
支払利息	76,276	57,430
持分法による投資損益(は益)	86,390	74,862
固定資産売却損益(は益)	1,773	25,436
固定資産除却損	3,287	677
会員権評価損	5,300	-
会員権売却損益(は益)	-	200
投資有価証券売却損益(は益)	1	16,240
投資有価証券評価損益(は益)	8,870	145,520
訴訟和解金	104,949	-
子会社清算損益(は益)	-	643
受取補償金	-	140,766
未払消費税等の増減額(は減少)	68,787	52,682
売上債権の増減額(は増加)	1,192,073	59,073
たな卸資産の増減額(は増加)	109,852	455,189
仕入債務の増減額(は減少)	1,355,622	247,554
その他	228,046	286,947
小計	1,954,049	690,897
利息及び配当金の受取額	141,896	142,363
利息の支払額	76,070	59,183
訴訟和解金の支払額	104,949	-
補償金の受取額	-	140,766
法人税等の還付額	50,996	7,851
法人税等の支払額	407,398	979,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,558,524	56,620

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	216,442	472,828
定期預金の払戻による収入	516,185	81,854
有価証券の償還による収入	76,640	-
有形固定資産の取得による支出	105,491	196,646
有形固定資産の売却による収入	2,018	13,129
無形固定資産の取得による支出	12,767	656,280
投資有価証券の取得による支出	11,824	5,167
投資有価証券の売却による収入	4	62,799
ゴルフ会員権の取得による支出	-	7,254
子会社株式の取得による支出	-	153,000
関係会社株式の取得による支出	-	4,900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	24,392	-
子会社の清算による収入	-	14,643
その他	60,662	7,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	163,269	1,315,728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,387,740	15,701,876
短期借入金の返済による支出	11,678,570	16,179,455
リース債務の返済による支出	42,532	39,700
長期借入れによる収入	350,000	500,000
長期借入金の返済による支出	1,196,041	1,263,843
自己株式の取得による支出	8	42
自己株式の処分による収入	37	-
配当金の支払額	437,173	437,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,616,547	1,718,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,293	176,048
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	88,953	3,266,733
現金及び現金同等物の期首残高	12,523,471	12,539,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,612,424 ₁	9,272,946 ₁

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
持分法適用の範囲の重要な変更 当第2四半期連結会計期間より、株式会社オルテナジーとの合併で設立した株式会社ルーフスを持分法適用の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(減価償却方法の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 これによる損益に与える影響は軽微であります。
(重要なヘッジ会計処理等の方法の変更) 従来、外貨建金銭債権債務に係る為替予約については振当処理を採用していましたが、為替変動の激しい期間においても、為替変動による影響を適時に認識し、外貨建金銭債権債務及びデリバティブ取引の状況をより適正に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間よりヘッジ手段である為替予約を時価評価する方法に変更いたしました。 当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響が軽微であるため、遡及適用しておりません。 なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

当社従業員の金融機関よりの借入金に対し、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
従業員	1,619千円	従業員	1,164千円
合計	1,619	合計	1,164

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	152,665千円	107,181千円
支払手形	664,786	964,266

(四半期連結損益計算書関係)

- 訴訟和解金は、当社の米国子会社(2002年8月解散)における株式譲渡契約に関する訴訟の和解金であります。
- 受取補償金は、国内連結子会社における逸失利益に対する東京電力株式会社からの補償金であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 現金及び現金同等物と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	13,018,051千円	10,472,570千円
有価証券勘定	195,458	0
計	13,213,509	10,472,570
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	405,627	1,199,624
MMFを除く有価証券	195,458	-
現金及び現金同等物	12,612,424	9,272,946

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月13日 取締役会	普通株式	437,173	20.0	平成23年3月31日	平成23年6月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計
 期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	327,880	15.0	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	437,173	20.0	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計
 期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	327,879	15.0	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	42,218,151	8,643,184	3,906,885	341,682	55,109,902
セグメント利益	1,093,904	713,274	327,702	11,232	2,146,112

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 売上高 (単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	55,109,902
セグメント間取引消去	333,784
四半期連結損益計算書の売上高	54,776,118

(2) 利益 (単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,146,112
セグメント間取引消去	19,546
のれんの償却額	35,534
その他の調整額	69,629
四半期連結損益計算書の営業利益	2,160,661

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	40,100,203	8,226,618	4,611,603	349,109	53,287,533
セグメント利益	691,636	521,447	212,116	16,485	1,441,684

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（1）売上高 （単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	53,287,533
セグメント間取引消去	344,374
四半期連結損益計算書の売上高	52,943,159

（2）利益 （単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,441,684
セグメント間取引消去	30,919
のれんの償却額	8,855
その他の調整額	46,803
四半期連結損益計算書の営業利益	1,510,551

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、同一報告セグメントの事業セグメント間取引については、相殺消去してはおりませんでした。報告セグメントの実態をより適正かつ明瞭に表示するため、前連結会計年度より相殺消去する方法に変更しております。従来、外貨建取引の為替換算基準については、受注・発注時の発生日レートと売上・仕入時の発生日レートの差額を営業利益の金額に調整してはりましたが、当該調整は為替変動の激しい期間において報告セグメントの実態把握に支障を来す可能性があることから、報告セグメントの実態をより適正かつ明瞭に表示するため、前連結会計年度より当該調整を行わない方法に変更しております。

また、従来、たな卸資産の評価については、当社グループの管理会計独自の処理方法により算定してはりましたが、セグメント業績の管理をより連結財務諸表に近いレベルで行うことに変更したため、第1四半期連結会計期間より連結財務諸表の会計方針と同一の方法として、収益性の低下したたな卸資産の帳簿価格を切り下げる方法に変更しております。従来、財務コストについては、支払利息等を各報告セグメントに配賦してはりましたが、セグメント業績の管理をより連結財務諸表に近いレベルで行うことに変更したため、第1四半期連結会計期間より当該配賦を行わない方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	58円11銭	45円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,270,267	990,432
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,270,267	990,432
普通株式の期中平均株式数(株)	21,858,618	21,858,605
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

(1)決算日後の状況

特記事項はありません。

(2)平成24年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・327,879千円

(ロ) 一株当たりの金額・・・・・・・・・・15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

伯東株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森本 泰行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 細井 友美子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伯東株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伯東株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。